

(事業者向け) 放課後等デイサービス自己評価表

公表：平成31年3月15日

事業所名 COMPASS発達支援センター 武蔵新城

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守し、定員に対応したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			法令基準以上の人員を配置し、個別指導を行えるように職員配置を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			ビルテナントのため階段などはバリアフリー化されていませんが、室内は配慮されています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全職員が参画してリフレクション会議を毎月行い、意見交換を行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の意向を伺った上で、ミーティングやリフレクション会議において評価内容を検討し、改善に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価表はホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は外部評価は行えていませんが、今後、第三者による外部評価については課題として検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内で行うリフレクション会議や本社主催のスカイプ会議だけでなく、行政主催の外部研修会等により研修の機会を確保しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートに記入して頂き、面談等により相談を受け、客観的な分析の上、サービス計画を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントシートを利用して対応しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ケース会議において全職員で内容を協議し、記録し、情報を共有しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムの固定化を防ぐため、利用児童に対して職員を固定化せず、職員間で話し合い、工夫しながら行なっています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は個別指導が中心、長期については長時間の利用になるため利用児童に飽きが来ず、楽しみながら成果に繋がられる内容を企画し活動を行なっています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童の特性や状況に応じて、個別、集団活動を組み合わせ、計画立案を行なっています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に支援内容や担当・役割について全職員が確認し、議事録へ記録しています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日の終礼または翌日の朝礼で気づいた点などを報告、情報共有し、議事録へも記録しています。	

適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別ファイルにて記録、日々更新しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリング、ケース会議で状況を協議し、内容の更新を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		個々に合わせた活動を組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用児童の状況を最も把握している者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	学校の行事や下校時刻については、必要に応じて保護者様から連絡を受け、保護者様から間接的に、或いは学校へ直接、連絡調整ができるよう体制はできています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在医療的ケアが必要な児童の利用はありませんが、身体特性や既往症などについては、保護者様に聞き取り表などの書類に、主治医の連絡先を伺い、連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在まだ移行の事例がなく、今後利用児童が移行する場合には、支援内容等の情報を提供していくための体制は整っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて連絡を取り合い、情報共有を行い、連携を図っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所外に行く事がなく、ご利用時間も限られているため、事例はありません。今後保護者様のご意見を入れながら検討して参ります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在まで参加できていませんが、今後、機会を逃さず積極的に参加していく予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳でのやり取りや、電話での報告や相談、面談によって共通理解を持つよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		必要に応じていつでも相談を受け、面談を行い、対応について助言、提案を行い支援させて頂いています。
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約や面談を行う際に、確認しながら、丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時に、または連絡帳で、時には電話や面談などで機会を逃さず、必要な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		不定期ではありますが、保護者様に集まって頂く会を企画・開催し、保護者様同士の連携を図っておりますが、今後はもっと深く連携ができるよう支援の機会を増やしたいと思います。

責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当窓口を設置し、担当者を置くことで迅速適切に対応できる体制をとっています。また普段からコミュニケーションを取り合うことで大きな苦情になる前にご意見をすくい上げ、ケアやフォローに繋げています。
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページのブログで活動をご紹介しているほか、季節ごとに会報を作成し、イベントや行事などを発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関わるものは必ず直接保護者様自身と受け渡しを行っています。個人情報の利用に関しては細心の注意を払い、また鍵付き書棚にて施錠し保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		専門用語を避け、わかりやすい言葉を選び、言語だけでなく、身振り手振りや筆談などあらゆる方法で情報をお伝えし、深く理解していただけるよう配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか		○	保護者様のご意向もありますので、個人情報に留意しながら今後前向きに検討して参ります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		見学时、契約時に各種マニュアルについて説明を行っています。また、壁面にマニュアルを掲示しいつでもご覧頂けるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練は、消防署の指導の下、計画を立て、定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		リフレクション会議において虐待防止の研修を行い、周知・理解を図っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示をご利用者様より伺い、対応について職員で研修・周知を行なっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		翌朝の朝礼で報告し、周知しています。また随時事例は全て記録し、ファイルにして振り返りができるようにしています。